

パブリックコメント対応表

	パブリックコメントによる提案	対 応
1	<p>総合計画上での勅使池周辺の構想・企画については、当該地の地域特性を十分生かした指針になっているか疑問。</p>	<p>前期計画及び後期（総合計画 1 節 2 項 1 水辺空間の保全と再生）の 5 年間に於いて、自然環境を保全整備していくとともに、自然と触れ合いながら健康でおいしいのある生活を楽しめるゾーンとして当該地を位置付けています。</p>
2	<p>当該地が地理的・地勢的に好条件の恵まれた環境にありながら、未だに非活性的（乱開発の恐れもある）な環境にとどまっている。</p>	<p>当該地域は市内有数の自然環境に恵まれた地域であり、今後もこれを維持していくために、地域の協力を得ながら自然保護を図りつつ、勅使池の公園化を中心に整備していきます。乱開発や不法投棄による自然破壊については、環境監視員制度の厳格化により、自然破壊が起きないように監視を強化します。</p>
3	<p>現状の問題提起に真剣に取り組めるメンバー構成により、公民連携での計画策定を望む。</p>	<p>現在進行中の勅使池整備事業においては、平成 13 年度から 14 年度の 2 カ年にわたり、有識者や近隣住民、関係機関などの皆さんの参加により、「勅使池整備事業検討委員会」が組織され、計画のありようについて議論しました。また、その後「勅使池を考える会」が引き続き計画について話し合っており、市に対して様々な提案をしています。今後の計画策定についても、第 4 次総合計画の協働の理念に則り、ご指摘の民間活力の導入を含め、それぞれの計画にあった手法を取り入れ実施していきます。</p>